

ローソク・線香の取り扱いに注意しましょう!

火のつけっぱなしが火災の原因となっています

仏壇の線香やローソクから火災になることがあります。

- ・線香は、座布団に落ちると炎を上げずに燃え続けることがあります。
- ・ローソクの炎の最高温度は、大きさにかかわらず約1,400℃もあります。

線香やローソクは、火災を起こすに十分な力を持っているのです。

ローソクの火が着ている服などに燃え移り、大やけどすることもあります。

ローソク・線香などからの事故・火災を防ぐため、次のことを心掛けましょう。

- ① ローソクや線香の配置場所・保管場所には十分注意する。
- ② ローソクや線香に火をつけたときは、その場を離れない。
- ③ ローソク立ては、安定性の高いものを使用する。
- ④ ローソクや線香の周りに燃えやすい物を置かない。
- ⑤ マッチの燃えかすは、確実に始末する。



長期間の使用による扇風機で事故が起こっています

扇風機を使い始める7月に事故が多発しています。長期使用による部品の劣化が原因と考えられます。被害は製品の焼損だけでなく、火災などに至るケースが多いので注意が必要です。

古い扇風機のチェックポイント

- ① スイッチを入れても羽が回転しない。
- ② 羽根の回転が遅かったり、ふれたりする。
- ③ モーターから異常な音ができる。
- ④ モーター部分が熱い、焦げ臭い。
- ⑤ コードが折れ曲がったり、破損している。

異常があれば発煙や発火の危険があります。使用を中止して、買い替えや専門家の点検を受けてください。

